




**Dell Smart Plug-in For HP Operations
Manager 9.0 For Microsoft Windows バージョ
ン 4
インストールガイド**



メモ、注意、警告

-  **メモ:** コンピュータを使いやすくするための重要な情報を説明しています。
-  **注意:** ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その問題を回避するための方法を説明しています。
-  **警告:** 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

著作権 © 2015 Dell Inc. 無断転載を禁じます。 この製品は、米国および国際著作権法、ならびに米国および国際知的財産法で保護されています。Dell™、およびデルのロゴは、米国および/またはその他管轄区域における Dell Inc. の商標です。本書で使用されているその他すべての商標および名称は、各社の商標である場合があります。

2015 - 04

Rev. A00

目次

Dell SPI for HPOM for Microsoft Windows について	4
Dell SPI のインストールの必要条件	5
管理サーバーのソフトウェア要件.....	5
管理下システムのソフトウェア要件.....	6
対応ファームウェアバージョン.....	7
WinRM に対するユーザー認証の設定.....	8
Dell SPI for HPOM for Microsoft Windows のインストール	9
Dell SPI インストールの確認.....	9
次に行う手順	17
Dell SPI 設定ユーティリティの使用.....	19
Dell Connections License Manager パラメータの設定.....	20
Dell Connections License Manager URL の設定.....	21
Modular Dell Disk (MD) Storage Manager コンソールの設定.....	21
Dell OpenManage Power Center (OMPC) ツールの設定.....	21
Dell OpenManage Essentials (OME) ツールの設定.....	22
Dell OpenManage Network Manager (OMNM) ツールの設定.....	23
Dell Compellent Enterprise Manager クライアントコンソールのインストール.....	23
Dell スイッチの Telnet ツールの設定.....	24
Dell 自動グループ化ポリシーのためのスケジュールの設定.....	24
Connections License Manager ドメイングループの作成	27
Dell デバイスの削除	28
インストーラの修復オプションの使用	29
プログラム機能の修復.....	29
Windows コントロールパネルを使用した Dell SPI プログラム機能の修復.....	30
Dell SPI バージョン 4.1 へのアップグレード	31
Dell SPI のアップグレード.....	31
Dell SPI for HPOM for Microsoft Windows のアンインストール	32
Windows コントロールパネルを使用した Dell SPI の削除.....	32
インストーラを使用した Dell SPI の削除.....	33
Dell SPI のアンインストールの確認.....	33
関連文書	34

Dell SPI for HPOM for Microsoft Windows について

『Dell Smart Plug-in (SPI) for Hewlett Packard Operations Manager (HPOM) 9.0 for Microsoft Windows バージョン 4.1 インストールガイド』には、Dell SPI for HPOM のアップグレード、インストール、設定、修復、およびアンインストールのためのソフトウェアおよびシステムの要件に関する情報が記載されています。このプラグインは、64 ビットシステムに適用できます。

Dell SPI for HPOM では、HPOM コンソールで管理している環境で、データセンターで Dell サービス (サーバー、ワークステーション、シャーシ、リモートアクセスコントローラ、ストレージ、およびネットワークスイッチ) を監視できます。また、Dell SPI for HPOM は、さらなるトラブルシューティング、設定、および管理アクティビティを実行するための Dell デバイスとその他 Dell ツールのコンソールの起動もサポートしています。

Dell SPI for HPOM では、次の Dell デバイスがサポートされます。

- デルの第 10 世代 Dell PowerEdge サーバーから第 13 世代 PowerEdge サーバー
- Dell Precision ラック型ワークステーション
- Integrated Dell Remote Access Controller 8 (iDRAC 8)、Integrated Dell Remote Access Controller 7 (iDRAC 7)、Integrated Dell Remote Access Controller 6 (iDRAC 6)、および Dell Remote Access Controller 5 (DRAC 5)
- Dell PowerEdge FX2 (FX2 CMC)、Dell PowerEdge VRTX (VRTX CMC)、および Dell PowerEdge M1000e (CMC)
- デルの第 10 世代 PowerVault NX ストレージアレイから第 12 世代の PowerVault NX ストレージアレイ、Dell EqualLogic PS-Series ストレージアレイ、Dell PowerVault MD ストレージアレイ、および Dell Compellent ストレージアレイ
- Dell ネットワークスイッチ (N シリーズ、S シリーズ、M シリーズ、Z シリーズ、8000 シリーズ、および 8100 シリーズ)

Dell SPI インストーラ (**Dell Smart Plug-in v4.1_x64.msi**)、インストールガイド、およびリリースノートは、自己解凍型実行ファイル **Dell_Smart_Plug-in v4.1_Axx.exe** にパッケージ化されています。本バージョンの Dell SPI をインストールする前に、最新のマニュアルを dell.com/omconnectionsEnterpriseSystemsManagement または dell.com/openmanagemanuals からダウンロードしてください。最新の既知の問題とその解決方法についての最新情報に関しては、Dell SPI リリースノートを参照してください。サポートされている Dell デバイスとオペレーティングシステムに関する詳細については、『Dell Smart Plug-in For HP Operations Manager 9.0 For Microsoft Windows バージョン 4.1 ユーザーズガイド』の **サポートマトリックス** を参照してください。

本ガイドで使用されている Dell ワークステーションは、Dell Precision R7910 ラック型ワークステーションを意味します。

Dell SPI のインストールの必要条件

Dell SPI のインストールの要件は次のとおりです。

- Dell SPI を HPOM 9.0 for Windows 管理サーバーのみにインストールしていることを確認する。
- HPOM 管理サーバーにシステム管理者および **HP_OVE_ADMIN** 権限があることを確認する。
- 管理サーバーに .Net Framework 3.5 がインストールされていることを確認する。

管理サーバーのソフトウェア要件

以下の表は管理サーバーのソフトウェア要件を示しています。

表 1. 管理サーバーのソフトウェア要件

要件	説明
Dell SPI for HPOM 9.0 for Microsoft Windows 対応のオペレーティングシステム	Dell SPI for HPOM 9.0 for Microsoft Windows は、次のオペレーティングシステムをサポートしています。 <ul style="list-style-type: none">• Windows Server 2012 R2• Windows Server 2012• Windows Server 2008 R2 SP1
最新 HPOM 9.0 パッチ搭載の HPOM 9.0 for Microsoft Windows	HPOM のインストールの詳細に関しては、HP サポートサイトで利用できる『 HP Operations Manager 9.0 インストールガイド 』を参照してください。
SNMPv2 でのトラップインタセプタ (オプション)	iDRAC7、Dell EqualLogic ストレージアレイ、または Dell スイッチなどの Dell デバイスから SNMPv2 を監視する場合は、SNMPv2 トラップを取得するように HPOM トラップインタセプタを設定します。詳細に関しては、HP Operations Manager オンラインヘルプの「 SNMP 条件の設定 」の項を参照してください。
SNMP サービス (オプション)	Dell デバイスから SNMPv1 トラップまたは SNMP v2 トラップを監視する場合は、SNMP サービスをインストールして有効にします。詳細に関しては、「 関連文書 」を参照してください。
WinRM 2.0 サービス (オプション)	WinRM バージョン 2.0 以降をインストールおよび設定して、監視している Dell ESXi システムとの通信を確立します。詳細については、「 WinRM のユーザー認証の設定 」を参照してください。

要件	説明
Dell Connections License Manager (オプション)	ライセンスサーバーは、Integrated Dell Remote Access Controller (iDRAC) を使用することによって、帯域外 (OOB) メソッドで Dell サーバー、Dell ワークステーション、または Dell PowerVault NX ストレージレイを監視することを選択した場合にのみ、インストールして設定してください。詳細については、 dell.com/support/manuals にある『Dell Connections License Manager インストールガイド』を参照してください。

管理下システムのソフトウェア要件

以下の表は管理下システムのソフトウェア要件を示しています。


-  **メモ:** ESXi を実行している Dell システムを監視するための WinRM 権限があることを確認する。
すべての管理下システムで DNS が正しく設定されており、管理下ノードに DNS 名前解決が可能な完全修飾ドメイン名 (FQDN) があることを確認します。

表 2. 管理下システムのソフトウェア要件

要件	説明
オペレーティングシステム	サポートされている Microsoft Windows、Linux、または ESXi のバージョンをインストールします。サポートされているオペレーティングシステムの詳細に関しては、「 関連文書 」を参照してください。
SNMP サービス	SNMP サービスをインストールして有効にし、管理サーバーが管理下ノードと確実に通信できるようにします。詳細については、「 関連文書 」および「 次に行う手順 」を参照してください。
SNMP エージェント	SNMP エージェントを設定して、コミュニティ名の変更、 Get 操作を有効にする、および HPOM 管理サーバーへのトラップ送信を行います。 SNMP サービストラップの宛先を設定して、管理サーバーでトラップを受信するようにします。 Dell デバイスでの SNMP エージェントの設定に関する詳細については、「 関連文書 」を参照してください。
Dell OpenManage Server Administrator (オプション)	OMSA は、帯域内メソッドで Dell サーバー、Dell ワークステーション、または Dell PowerVault NX ストレージレイを監視することを選択した場合にのみ、インストールして設定してください。 Dell OpenManage Server Administrator (OMSA) は、Windows または Linux オペレーティングシステ

要件	説明
	<p>ムを実行している Dell サーバー、Dell ワークステーション、Dell PowerVault NX ストレージアレイでサポートされています。</p> <p>ESXi を実行している Dell サーバーまたはワークステーション上には Dell OpenManage Server Administrator vSphere Installation Bundle (VIB) をインストールし、OEM CIM プロバイダを有効にして、管理サーバーがシステムと通信できるようにします。</p> <p>OEM CIM プロバイダを有効にする、または Windows、ESXi、または Linux オペレーティングシステムを実行している Dell サーバー用に SNMP を設定する場合の詳細に関しては、「関連文書」を参照してください。</p>

対応ファームウェアバージョン

次の表は、Dell デバイスでサポートされているファームウェアバージョンのリストです。

表 3. Dell デバイス用の対応ファームウェアバージョン

Dell デバイス	対応 OMSA バージョン	対応ファームウェアバージョン
デルの第 10 世代 PowerEdge サーバーから第 13 世代 PowerEdge サーバー	7.4~8.1	該当なし
Dell ワークステーション	8.0.1~8.1	該当なし
DRAC5	該当なし	1.6 および 1.5
iDRAC6 第 11 世代モジュラー	該当なし	3.50 および 3.42
iDRAC6 第 11 世代モノリシック	該当なし	1.96 および 1.95
iDRAC7	該当なし	2.10.10.10 および 1.66.65
iDRAC8	該当なし	2.10.10.10 および 2.05.05.05
CMC	該当なし	5.1 および 5.0
VRTX CMC	該当なし	2.1 および 2.0
FX2 CMC	該当なし	1.2 および 1.1
Dell Compellent ストレージアレイ	該当なし	6.6 および 6.5
Dell EqualLogic PS-Series ストレージアレイ	該当なし	8.0 および 7.0
PowerVault MD ストレージアレイ	該当なし	8.20.05.60 および 07.84.53.60

Dell デバイス	対応 OMSA バージョン	対応ファームウェアバージョン
デルの第 10 世代 PowerVault ストレージアレイから第 12 世代 PowerVault ストレージアレイ	7.4~8.1	該当なし
Dell ネットワークスイッチ	該当なし	<ul style="list-style-type: none"> • S シリーズ <ul style="list-style-type: none"> - S6000 (9.6.0.0 および 9.5.0.1) - S5000 (9.6.0.0 および 9.1) - S4820T (9.6.0.0 および 9.5.0.1) - S4810 (9.6.0.0 および 9.5.0.1) - S55 (8.3.5.6) - S60 (8.3.3.10) • Z シリーズ <ul style="list-style-type: none"> - Z9500 (9.6.0.0 および 9.5.0.1) - Z9000 (9.6.0.0 および 9.5.0.1) • M シリーズ <ul style="list-style-type: none"> - MXL (9.6.0.0 および 9.5.0.1) - MIOA (9.6.0.0 および 9.5.0.1) • N シリーズ <ul style="list-style-type: none"> - 6.1.2.4 および 6.1.1.7 • 8100 シリーズ <ul style="list-style-type: none"> - 5.1.4.5 および 5.1.3.7 • 8000 シリーズ <ul style="list-style-type: none"> - 5.1.7.5 および 5.1.6.3

WinRM に対するユーザー認証の設定

WinRM に関するユーザー認証を設定するには、次の手順を実行します。

1. **Windows** メニューから**開始** → **ファイル名を指定して実行**をクリックします。
2. **ファイル名を指定して実行** ウィンドウで、`winrm configsdcl default` と入力し、**OK** をクリックします。
3. **追加** をクリックし、必要なローカルまたはドメインのユーザー、もしくはグループをリストに追加します。
4. 各ユーザーに適切な許可を与え、**OK** をクリックします。

Dell SPI for HPOM for Microsoft Windows のインストール

Dell SPI をインストールする前に、HPOM コンソールを閉じる必要があります。
HPOM 管理サーバーに Dell SPI をインストールするには次の手順を実行します。

1. デルサポートサイト dell.com/support から Dell SPI インストーラをダウンロードします。
2. 管理サーバーで **Dell_Smart_Plug-in v4.1_Axx.exe** を解凍します。
3. **Dell_Smart_Plug-in v4.1_Axx.exe** の内容を解凍したディレクトリに移動して、**Dell Smart Plug-in v4.1_x64.msi** を実行します。
4. ようこそ画面で、**次へ** をクリックします。
5. **ライセンス契約に同意する** オプションを選択して **次へ** をクリックします。
6. **対応マニュアルと場所** 画面で、**次へ** をクリックします。
7. Dell Smart Plug-in v4.1 をデフォルトの宛先フォルダにインストールするには、**宛先フォルダ** 画面で **次へ** をクリックします。Dell Smart Plug-in v4.1 をカスタムフォルダにインストールするには、**変更** をクリックして、宛先フォルダのパスを入力します。
8. インストール中にポリシーファイルを自動導入する場合は、**自動導入** 画面で **はい** を選択してから **次へ** をクリックします。それらを管理サーバーに手動で導入する場合は、**いいえ** を選択してから **次へ** をクリックします。
インストールの**準備完了** 画面に、Dell SPI にサポートされている Dell デバイスに関する詳細および Dell SPI のインストールの場所が表示されます。
9. **インストール** をクリックし、**完了** をクリックします。

Dell SPI インストールの確認

Dell SPI のインストールを確認するには、次の手順を実行します。

1. HPOM コンソールを起動し、以下の階層が作成されたことを確認します。
 - サービス階層
 - システムのインフラストラクチャ
 - * Dell ハードウェア
 - 1. Dell シャーシ
 - CMC
 - FX2 CMC

- VRTX CMC
- 2. Dell DRAC
 - DRAC5
 - iDRAC6 モジュール
 - iDRAC6 モノリシック
 - iDRAC7 モジュール
 - iDRAC7 モノリシック
 - iDRAC8 モジュール
 - iDRAC8 モノリシック
- 3. Dell ネットワークスイッチ
 - 8000 | 8100 シリーズスイッチ
 - M シリーズスイッチ
 - N シリーズスイッチ
 - S シリーズスイッチ
 - Z シリーズスイッチ
- 4. Dell サーバー
 - ESXi サーバー
 - Linux サーバー
 - Windows サーバー
- 5. Dell ストレージ
 - Compellent ストレージ
 - EqualLogic PS Series ストレージ
 - PowerVault MD ストレージ
 - PowerVault NX ストレージ
- 6. Dell ワークステーション
 - ESXi ワークステーション
 - Linux ワークステーション
 - Windows ワークステーション
- Dell SPI ライセンス
 - **メモ:** 自動グループ化ポリシーがサイクルを完了すると、Dell SPI ライセンスサービスが表示されます。

- ▲ Services
 - ▷ Applications
 - ▲ Systems Infrastructure
 - ▲ Dell Hardware
 - ▲ Dell Chassis
 - CMC
 - FX2 CMC
 - VRTX CMC
 - ▲ Dell DRAC
 - ▷ DRAC5
 - ▷ iDRAC6 Modular
 - ▷ iDRAC6 Monolithic
 - ▷ iDRAC7 Modular
 - ▷ iDRAC7 Monolithic
 - ▷ iDRAC8 Modular
 - ▷ iDRAC8 Monolithic
 - ▲ Dell Network Switches
 - ▷ 8000 | 8100 Series Switches
 - ▷ M-Series Switches
 - ▷ N-Series Switches
 - ▷ S-Series Switches
 - ▷ Z-Series Switches
 - ▲ Dell Servers
 - ▷ ESXi Servers
 - ▷ Linux Servers
 - ▷ Windows Servers
 - ▲ Dell Storage
 - ▷ Compellent Storage
 - ▷ EqualLogic PS-Series Storage
 - ▷ PowerVault MD Storage
 - ▷ PowerVault NX Storage
 - ▲ Dell Workstations
 - ▷ ESXi Workstations
 - ▷ Linux Workstations
 - ▷ Windows Workstations
 - + Dell SPI Licensing

図 1. インストール後の Dell ハードウェアサービスの階層

- ノード階層
 - Dell 管理下システム
 - a. Dell シャーシ
 - * CMC
 - * FX2 CMC
 - * VRTX CMC
 - b. Dell DRAC
 - * DRAC5
 - * iDRAC6 モジュール
 - * iDRAC6 モノリシック
 - * iDRAC7 モジュール
 - * iDRAC7 モノリシック
 - * iDRAC8 モジュール
 - * iDRAC8 モノリシック
 - c. Dell ネットワークスイッチ
 - * 8000 | 8100 シリーズスイッチ
 - * M シリーズスイッチ
 - * N シリーズスイッチ
 - * S シリーズスイッチ
 - * Z シリーズスイッチ
 - d. Dell サーバー
 - * モジュールサーバー
 - * モノリシックサーバー
 - e. Dell ストレージ
 - * Compellent ストレージ
 - * EqualLogic PS Series ストレージ
 - * PowerVault MD ストレージ
 - * PowerVault NX ストレージ
 - f. 応答のない Dell デバイス
 - g. Dell ワークステーション
 - * ラック型ワークステーション

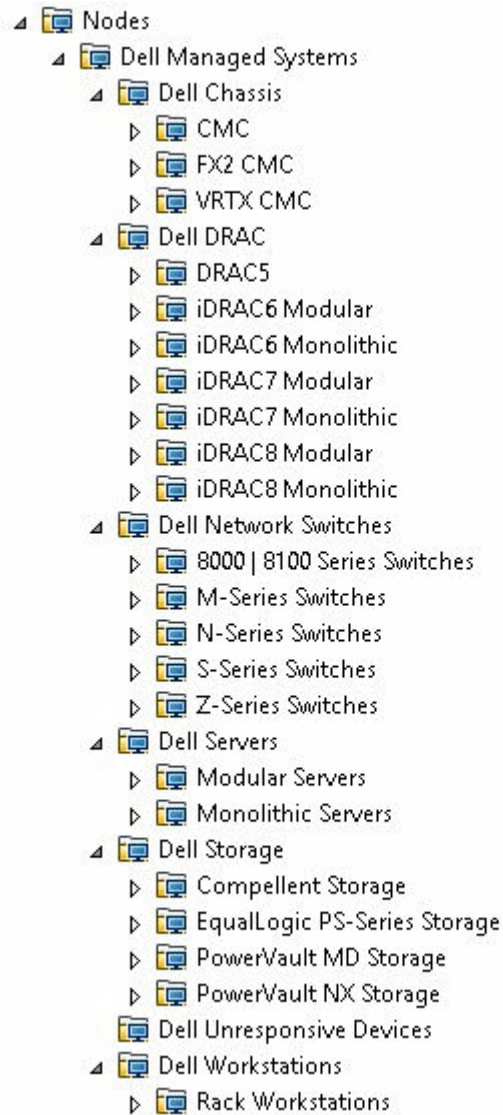


図 2. インストール後の Dell ハードウェアノードの階層

2. ポリシー管理 → ポリシーグループ → Dell デバイス用 SPI と移動します。
 - a. Dell デバイス用 SPI に次のポリシーが存在することを確認します。
 - Dell サーバー
 - Dell ストレージ
 - Dell スイッチ
 - Dell ワークステーション
 - Dell Connections License Manager のスケジュールされた状態ポーリング
 - Dell デバイスの汎用トラップ
 - Dell ハードウェアの自動グループ化ポリシー
 - b. Dell デバイス用 SPI → Dell サーバー に次のポリシーが存在することを確認します。
 - Dell DRAC およびシャーシのスケジュールされた状態ポーリング

- Dell DRAC およびシャーシのトラップ
 - Dell DRAC およびシャーシのトラップ (手動確認)
 - デルエージェントフリーサーバーのトラップ
 - デルエージェントフリーサーバーのトラップ (手動確認)
 - Dell サーバーのスケジュールされた状態ポーリング
 - Dell サーバートラップ
 - Dell サーバーのトラップ (手動承認)
- c. **Dell デバイス用 SPI → Dell ストレージ** に次のポリシーが存在することを確認します。
- Dell Compellent ストレージのトラップ
 - Dell Compellent ストレージのトラップ (手動確認)
 - Dell Compellent ストレージのスケジュールされた状態ポーリング
 - Dell EqualLogic PS-Series ストレージのスケジュールされた状態ポーリング
 - Dell EqualLogic PS-Series ストレージのトラップ
 - Dell EqualLogic PS-Series ストレージのトラップ (手動確認)
 - Dell PowerVault MD ストレージのスケジュールされた状態ポーリング
 - Dell PowerVault MD ストレージのトラップ (手動確認)
 - Dell PowerVault NX ストレージのスケジュールされた状態ポーリング
- d. **Dell デバイス用 SPI → Dell スイッチ** に次のポリシーが存在することを確認します。
- Dell 8000 | 8100 ネットワークスイッチのスケジュールされた状態ポーリング
 - Dell N シリーズ | 8000 | 8100 ネットワークスイッチのトラップ
 - Dell N シリーズ | 8000 | 8100 ネットワークスイッチのトラップ (手動確認)
 - Dell Enterprise シリーズスイッチのトラップ (手動確認)
 - Dell Enterprise スイッチのスケジュールされた状態ポーリング
 - Dell N シリーズネットワークスイッチのスケジュールされた状態ポーリング
- e. **Dell デバイス用 SPI → Dell ワークステーション** に次のポリシーが存在することを確認します。
- Dell ワークステーションのスケジュールされた状態ポーリング
3. 自動導入ポリシーがポリシーインベントリ内にあることを確認します。
ノードで、管理サーバーを右クリックし、**表示 → ポリシーインベントリ** をクリックして、以下のポリシーを表示します。
- Dell 8000 | 8100 ネットワークスイッチのスケジュールされた状態ポーリング
 - Dell N シリーズ | 8000 | 8100 ネットワークスイッチのトラップ
 - Dell Compellent ストレージのスケジュールされた状態ポーリング
 - Dell Compellent ストレージのトラップ
 - Dell Connections License Manager のスケジュールされた状態ポーリング
 - Dell デバイスの汎用トラップ
 - Dell DRAC およびシャーシのスケジュールされた状態ポーリング
 - Dell DRAC およびシャーシのトラップ
 - デルエージェントフリーサーバーのトラップ
 - デルエージェントフリーサーバーのトラップ (手動確認)
 - Dell Enterprise スイッチのスケジュールされた状態ポーリング
 - Dell Enterprise スイッチのトラップ (手動確認)
 - Dell EqualLogic PS-Series ストレージのスケジュールされた状態ポーリング
 - Dell EqualLogic PS-Series ストレージのトラップ

- Dell ハードウェアの自動グループ化ポリシー
 - Dell N シリーズネットワークスイッチのスケジュールされた状態ポーリング
 - Dell PowerVault MD ストレージのスケジュールされた状態ポーリング
 - Dell PowerVault MD ストレージのトラップ (手動確認)
 - Dell PowerVault NX ストレージのスケジュールされた状態ポーリング
 - Dell サーバーのスケジュールされた状態ポーリング
 - Dell サーバーのトラップ
 - Dell ワークステーションのスケジュールされた状態ポーリング
4. 以下のツールが、**ツール** 下にあるそれぞれの該当するフォルダに表示されていることを確認します。
- a. 以下のツールは、**ツール** → **Dell ツール** に表示されます。
 - Dell シャーシ
 - Dell DRAC
 - Dell ネットワークスイッチ
 - Dell サーバー
 - Dell ワークステーション
 - Dell SPI ライセンス
 - Dell ストレージ
 - OpenManage Essentials コンソール
 - OpenManage Power Center コンソール
 - 保証レポート
 - b. 以下のツールは、**ツール** → **Dell ツール** → **Dell シャーシ** に表示されます。
 - CMC コンソール
 - c. 以下のツールは、**ツール** → **Dell ツール** → **DellDRAC** に表示されます。
 - DRAC コンソール
 - OpenManage Server Administrator コンソール
 - d. 以下のツールは、**ツール** → **Dell ツール** → **Dell ネットワークスイッチ** に表示されます。
 - 8000 | 8100 スイッチ
 - OpenManage Switch Administrator コンソール
 - N シリーズスイッチ
 - OpenManage Switch Administrator コンソール
 - Dell OpenManage Network Manager コンソール
 - デルのスイッチの Telnet ツール
 - e. 以下のツールは、**ツール** → **Dell ツール** → **Dell サーバー** に表示されます。
 - Dell Remote Access Controller コンソール (帯域内)
 - OpenManage Server Administrator コンソール
 - Dell OpenManage Server Administrator Web Server コンソール
 - f. 以下のツールは、**ツール** → **Dell ツール** → **Dell SPI ライセンス** に表示されます。
 - Dell Connections License Manager コンソール起動ツール
 - g. 以下のツールは、**ツール** → **Dell ツール** → **Dell ストレージ** に表示されます。
 - Dell Compellent ストレージ
 - Dell Compellent Enterprise Manager クライアントコンソール

- Dell Compellent Storage Manager コンソール
- Dell EqualLogic PS-Series ストレージ
 - EqualLogic Group Manager コンソール
- Dell PowerVault MD ストレージ
 - MD Storage Manager コンソール
- Dell PowerVault NX ストレージ
 - OpenManage Server Administration コンソール
 - Dell OpenManage Server Administration Web Server コンソール
 - Dell Remote Access Controller コンソール (帯域内)
- h. 以下のツールは、**ツール** → **Dell ツール** → **Dell ワークステーション** に表示されます。
 - OpenManage Server Administration コンソール
 - Dell OpenManage Server Administration Web Server コンソール
 - Dell Remote Access Controller コンソール (帯域内)
- 5. Dell SPI 設定ユーティリティがデフォルト、またはカスタムディレクトリにインストールされていることを確認します。デフォルトの場所は次のとおりです。

C:\Program Files\Dell\OpenManage Connection for HP

手順のいずれかに失敗した場合は、必要条件をチェックして再試行してください。

インストーラの **修復** および **アンインストール** オプションの使用については、次の項を参照してください。


- [インストーラの修復オプションの使用](#)
- [Dell SPI for HPOM for Microsoft Windows のアンインストール](#)

次に行う手順

Dell SPI のインストール後、対応 Dell デバイスのための SNMP パラメータ、OOB サーバー監視のための Dell Connections License Manager (DCLM) パラメータ、および ESXi システムのための WSMAN パラメータを設定し、管理サーバーと Dell システムとの間の通信が正しく確立されることを確認します。通信パラメータを設定するには、Dell SPI インストーラの一部である **DellSPICongfigUtility.exe** を実行します。


次を設定することができます。

- SNMP パラメータ
 - Timeout
 - Retries
- Dell OpenManage Server Administrator Web Server コンソール URL
 - - dwsurl
- DCLM パラメータ：
 - Webservice URL
 - Username
 - Password
- WSMAN 接続パラメータ
 - Username
 - Password
 - Timeout
 - Certificate Authority check、Common Name check、および Revocation check を含むセキュリティオプション

 **メモ:** DCLM Webservice の URL および Dell OpenManage Server Administrator Web Server コンソールの URL は、環境に応じて設定することができます。


次のコンソールを Dell SPI for HPOM から起動するためにユーザーが実行する必要がある特定の設定はありません。

- 保証コンソール
- DRAC コンソール
- Dell Remote Access Controller コンソール (帯域内)
- CMC コンソール
- EqualLogic Group Manager コンソール
- Dell Compellent Storage Manager コンソール
- OpenManage Server Administrator コンソール
- OpenManage Switch Administrator コンソール

 **メモ:** インターネットへのアクセスにプロキシサーバーを使用している場合は、お使いのインターネットブラウザのインターネットプロキシ例外リストに DCLM の IP アドレスを追加して、HPOM コンソール内で iDRAC7 または iDRAC8 のデバイスを分類できるようにします。

以下の表では、SNMP、Dell OpenManage Server Administrator Web Server コンソール URL、WSMAN、DCLM、および保証レポート URL に異なる値を設定するためのコマンドラインオプションがリストされています。

表 4. コマンドラインオプション

オプション	説明
-snmptimeout	ミリ秒単位の SNMP タイムアウト値を指定します。デフォルト値は 5000 (5 秒)。100 ミリ秒から 4294967290 ミリ秒までの値を設定します。
-snmpretries	SNMP の再試行数を指定します。デフォルト値は 1 です。
- dwsurl	Dell OpenManage Server Administrator ウェブサーバーコンソール URL を指定します。 例: https://dwshost:1311/
-dclmwebserviceurl	DCLM の URL を指定します。 例: http://dclmserver.domain.com:8543/
-dclmusername	基本的な認証でのログインのための DCLM ユーザー名を指定します。 例: domain\username
-dclmpassword	基本的な認証でのログインのための DCLM パスワードを指定します。
-getall	すべてのオプションの値を指定し、それらを画面に表示します。このオプションは、次のパラメータを除く個々のすべてのパラメータの値を取得します。 <ul style="list-style-type: none"> • wsmanusername • wsmanpassword • dclmusername • dclmpassword
-resetdefaults	設定可能なすべての値を、デフォルト値にリセットします。  メモ: このオプションの値は、次のオプションの値をリセットしません。 <ul style="list-style-type: none"> • wsmanusername • wsmanpassword • dclmusername • dclmpassword
-help	このツールの使用方法についてのヘルプを表示します。
-wsmanusername	ESXi オペレーティングシステムを使用している Dell サーバで、ローカルまたはドメインアカウントのユーザー名を指定します。ESXi システムに基本認証で

オプション	説明
	ログインするための WSMAN のユーザー名を指定します。
-wsmanpassword	指定したユーザー名用のパスワードを指定します。
-wsmancachecheck	証明書を発行した認証局の認証を省略します。値は yes または no のいずれかです。デフォルト値は no です。この値を yes に設定すると、認証機関の認証チェックが実行されます。
-wsmancnccheck	共通名 (CN) の認証を省略します。値は yes または no のいずれかです。デフォルト値は no です。この値を yes に設定すると、共通名がチェックされます。
-wsmanrevocationcheck	WSMAN 接続がサーバー証明書の失効状態を検証するかどうかを指定します。値は yes または no です。デフォルト値は no です。この値を yes に設定すると、サーバー証明書の失効ステータスのチェックがされます。
-wsmantimeout	ミリ秒単位の WSMAN タイムアウト値を指定します。デフォルト値は 30000 (30 秒)。500 ミリ秒から 4294967290 ミリ秒までの値を設定します。

Dell SPI 設定ユーティリティの使用

Dell SPI 設定ユーティリティを使用するには、次の手順を実行します。

1. 管理サーバーでコマンドプロンプトを起動します。
2. **DellSPIConfigUtility.exe** に移動します。
デフォルトの場所は、**C:\Program Files\Dell\OpenManage Connection for HP** です。
3. 対応 Dell デバイスに対して前項の表 4 にリストされている任意のパラメータを設定するには、次のコマンドを入力します。

DellSPIConfigUtility.exe -<option>=<value>。次に **Enter** を押します。

たとえば、WSMAN のタイムアウトを設定する場合は、コマンド DellSPIConfigUtility.exe -wsmantimeout=500 を入力します。

ESXi システムを監視している場合、wsmanusername および wsmanpassword の値を設定する必要があります。Dell OpenManage Server Administrator Web Server コンソールを起動するための値を設定することもできます。

wsmanpassword に値を指定する際、コマンド、DellSPIConfigUtility.exe -wsmanpassword を入力して **Enter** を押します。wsmanpassword の指定時には、

- -wsmanpassword の後に = を指定する必要はありません。

- パスワードを変更する場合は、古いパスワードを入力してから、新しいパスワードを2回入力するプロンプトが表示されます。
- パスワードを最初に指定するときには、そのパスワードを2回入力する必要があります。



メモ: ユーザー名を変更した場合でも、ユーティリティによってパスワードを変更するようプロンプトが表示されます。

無効な値を入力した場合、ユーティリティによりエラーメッセージとヘルプテキストが表示されません。

wsmanusername および wsmanpassword 以外の各オプションの値を確認するには、
DellSPIConfigUtility.exe -<option> と入力します。

Dell Connections License Manager パラメータの設定

Dell Connections License Manager (DCLM) のパラメータを設定するには、次の手順を実行します。

1. **Dell Connections License Manager** をインストールします。
詳細については、dell.com/support/manuals で『Dell Connections License Manager インストールガイド』を参照してください。
2. 管理サーバーでコマンドプロンプトを起動します。
3. **DellSPIConfigUtility.exe** に移動します。
デフォルトの場所は、**C:\Program Files\Dell\OpenManage Connection for HP** です
4. Dell Connections License Manager のウェブサービス URL を次のコマンドを入力して設定します。
DellSPIConfigUtility.exe -dclmwebserviceurl=http://<License Server IP>:<port number>/

例 : DellSPIConfigUtility.exe -dclmwebserviceurl=http://
mylicenseserver.mydomain.com:8543/

5. Dell Connections License Manager のユーザー名を次のコマンドを入力して設定します。
DellSPIConfigUtility.exe -dclmusername=<username>
6. 次のコマンド、
DellSPIConfigUtility.exe -dclmpassword を入力してパスワードを入力します。



メモ: -dclmpassword の後に = を指定する必要はありません。

正しいパスワードの入力を確認するために、パスワードを再度入力する必要があります。

パスワードを変更する場合は、古いパスワードを入力してから、新しいパスワードを2回入力するプロンプトが表示されます。



メモ: dclmusername を変更すると、ユーティリティが dclmpassword を変更するプロンプトを表示します。

Dell Connections License Manager URL の設定

Dell Connections License Manager (DCLM) の URL を設定するには、次の手順を実行します。

1. ツール → Dell ツール → Dell SPI ライセンス → Dell Connections License Manager コンソール起動ツールをクリックします。
2. 右のペインで、Dell License Manager コンソールの起動ツールを右クリックして、ポップアップメニューからプロパティをクリックします。
Dell Connections License Manager コンソール起動ツールのプロパティ ウィンドウが表示されます。
3. Dell Connections License Manager コンソール起動ツールのプロパティ ウィンドウで、詳細 タブをクリックします。
4. URL : (必須) ボックスで、Dell Connections License Manager コンソールの URL を入力します。
例 : `http://mylicenseserver.mydomain.com:8544/DellLicenseManagement`
5. 適用、OK の順にクリックします。
Dell Connections License Manager の URL は、HPOM コンソールに設定されています。

Modular Dell Disk (MD) Storage Manager コンソールの設定

Dell Modular Disk (MD) Storage Manager コンソールを設定するには、次の手順を実行します。

1. Modular Disk (MD) Storage Manager クライアントを管理サーバーにインストールします。
2. ツール → Dell ツール → Dell ストレージ → Dell PowerVault MD ストレージ とクリックします。
3. 右のペインで、MD Storage Manager コンソールを右クリックして、ポップアップメニューのプロパティをクリックします。
MD Storage Manager コンソールプロパティ ウィンドウが表示されます。
4. MD Storage Manager コンソールプロパティ ウィンドウで、詳細 タブをクリックします。
5. コマンドタイプ : (必須) ドロップダウンリストで、実行可能 をクリックします。
6. Modular Disk Storage Manager Client.exe のパスを取得します
デフォルトのパスは `C:\Program Files (x86)\Dell\MD Storage Software\MD Storage Manager\client\Modular Disk Storage Manager Client.exe` です
7. コマンド : (必須) ボックスで、Modular Disk Storage Manager Client.exe の場所の情報を入力するか、参照 をクリックして Modular Disk Storage Manager Client.exe ファイルをインストールした場所に移動します。
8. 適用、OK の順にクリックします。
MD Storage Manager コンソール が HPOM コンソールに設定されました。

Dell OpenManage Power Center (OMPC) ツールの設定

Dell OMPC ツールを設定するには、次の手順を実行します。

1. OpenManage Power Center (OMPC) をインストールします。

詳細については、dell.com/support/manuals で『*Dell OpenManage Power Center ユーザーズガイド*』を参照してください。

2. HPOM コンソールで、ツール → **Dell ツール** を選択します。
3. 右のペインで **OpenManage Power Center** コンソール を右クリックして、ポップアップメニューから **プロパティ** をクリックします。

OpenManage Power Center コンソールプロパティ ウィンドウが表示されます。

4. **OpenManage Power Center** コンソールプロパティ ウィンドウで、**詳細** タブをクリックします。
5. **コマンドタイプ** : (必須) ドロップダウンリストで、**URL** を選択します。
6. **コマンド** : (必須) ボックスで、**OMPC** コンソールの URL を入力します。

デフォルトの URL は **https://localhost:8643/powercenter** です



メモ: OMPC コンソールは、HPOM サーバーと同じサーバーに OMPC がインストールされている場合にのみ、デフォルトの URL を使って正常に起動されます。OMPC が別のサーバーにインストールされている場合は、該当する OMPC がインストールされた OMPC サーバーの URL を取得し、OMPC URL を設定します。

- 例 : **https://10.94.145.132:8643/powercenter**
- 例 : **https://hpom1w2k8r2.hpdom.com:8643/powercenter**

7. **適用**、**OK** の順にクリックします。

OMPC コンソール が HPOM コンソールに設定されました。

Dell OpenManage Essentials (OME) ツールの設定

Dell OME ツールを設定するには、次の手順を実行します。

1. OpenManage Essentials (OME) をインストールします。
詳細については、dell.com/support/manuals で『*Dell OpenManage Essentials ユーザーズガイド*』を参照してください。
2. HPOM コンソールで、ツール → **Dell ツール** をクリックします。
3. 右のペインで、**OpenManage Essentials** コンソール を右クリックして、ポップアップメニューの **プロパティ** をクリックします。

OpenManage Essentials コンソールプロパティ ウィンドウが表示されます。

4. **OpenManage Essentials** コンソールプロパティ ウィンドウで、**詳細** タブをクリックします。
5. **コマンドタイプ** : (必須) ドロップダウンリストで、**URL** を選択します。
6. **コマンド** : (必須) ボックスで、**OME** コンソールの URL を入力します。

デフォルトの URL パスは **https://localhost:2607/Web/Default.aspx** です



メモ: OME コンソールは、HPOM サーバーと同じサーバーに OME がインストールされている場合にのみ、デフォルトの URL を使って正常に起動されます。OME が別のサーバーにインストールされている場合は、該当する OME サーバーの URL を取得し、OME URL を設定します。

- 例 : **https://<IP アドレスまたは完全修飾ドメイン名>:2607/Web/Default.aspx**
- 例 : **https://10.94.149.172:2607/Web/Default.aspx**
- 例 : **https://hpom1w2k8r2.hpdom.com:2607/Web/Default.aspx**


7. **適用**、**OK** の順にクリックします。

OME コンソール が HPOM コンソールに設定されました。

Dell OpenManage Network Manager (OMNM) ツールの設定

Dell OMNM ツールを設定するには、次の手順を実行します。

1. Dell OpenManage Network Manager をインストールします。
詳細については、dell.com/support/manuals で『Dell OpenManage Network Manager クイックスタートガイド』を参照してください。
2. HPOM コンソールで、**ツール** → **Dell ツール** → **Dell ネットワークスイッチ** をクリックします。
3. 右のペインで、**OpenManage Network Manager コンソール** を右クリックして、ポップアップメニューの **プロパティ** をクリックします。
Dell OpenManage Network Manager コンソールプロパティ ウィンドウが表示されます。
4. **Dell OpenManage Network Manager コンソールプロパティ** ウィンドウで、**詳細** タブをクリックします。
5. **コマンドタイプ** : (必須) ドロップダウンリストで、**URL** を選択します。
6. **コマンド** : (必須) ボックスに、Dell OpenManage Network Manager コンソールの URL を入力します。
デフォルトの URL は **https://localhost:8080** です

 **メモ**: **Dell OpenManage Network Manager コンソール** は、HPOM サーバーと同じサーバーに OMNM がインストールされている場合にのみ、デフォルトの URL を使って正常に起動されます。OMNM が別のサーバーにインストールされている場合は、該当する OMNM サーバーの URL を取得し、OMNM URL を設定します。

- 例 : **https://<IP アドレスまたは完全修飾ドメイン名 >:8080**
 - 例 : **https://10.94.149.172:8080**
 - 例 : **https://hpom1w2k8r2.hpdom.com:8080**
7. **適用**、**OK** の順にクリックします。
Dell OpenManage Network Manager コンソール は、HPOM コンソールに設定されています。

Dell Compellent Enterprise Manager クライアントコンソールのインストール

Dell Compellent Enterprise Manager クライアントコンソールを設定するには、次の手順を実行します。

1. Dell Compellent Enterprise Manager クライアントを、HPOM をインストールした管理サーバー上にインストールします。
2. **ツール** → **Dell ツール** → **Dell ストレージ** → **Dell Compellent ストレージ** とクリックします。
3. 右のペインで、**Dell Compellent Enterprise Manager クライアントコンソール** を右クリックして、ポップアップメニューの **プロパティ** をクリックします。
Dell Compellent Enterprise Manager クライアントコンソールのプロパティ ウィンドウが表示されます。
4. **Dell Compellent Enterprise Manager クライアントコンソールのプロパティ** ウィンドウで、**詳細** タブをクリックします。
5. **コマンドタイプ** : (必須) ドロップダウンリストで、**実行可能** をクリックします。

6. **EnterpriseClient.exe** のパスを取得します

デフォルトコマンド : /c "cd C:\Program Files (x86)\Compellent Technologies\Compellent Enterprise Manager\msagui" & start EnterpriseClient.exe

7. コマンド : (必須) ボックスで、**EnterpriseClient.exe** の場所の詳細を入力するか、**参照** をクリックして、**EnterpriseClient.exe** ファイルをインストールする場所に移動します。

8. **適用** をクリックします。

9. **OK** をクリックします。

Dell Compellent Enterprise Manager クライアントコンソールは、HPOM コンソールに設定されています。

Dell スイッチの Telnet ツールの設定

Dell スイッチの Telnet ツールを設定するには、次の手順を実行します。

1. サーバーマネージャで、**機能** → **機能の追加** をクリックします。

機能の選択 画面が表示されます。

2. **Telnet** クライアントの機能をクリックし、**次へ** をクリックします。

3. インストールの**選択を確認** ウィンドウで、**インストール** をクリックします。

4. システムのプロパティ → **詳細** → **環境変数** をクリックして、%Path%内に **Telnet.exe** へのパスが含まれていることを確認します。

Dell スイッチの Telnet ツールは、HPOM コンソールに設定されています。

Dell 自動グループ化ポリシーのためのスケジュールの設定

Dell のポリシーのスケジュールを設定するには、次の手順を実行します。

1. **ポリシー管理** → **ポリシーグループ** → **Dell デバイス用 SPI** をクリックします。

2. Dell ポリシーのリストで **Dell ハードウェア自動グループ化ポリシー** を右クリックし、**すべてのタスク** → **編集** をクリックします。

Dell ハードウェア自動グループ化ポリシー [4.1] (スケジュールされたタスク) の画面が表示されます。

3. **スケジュール** タブで、ドロップダウンメニューから任意のオプションをクリックして、希望のスケジュールを入力します。

希望のスケジュールの値が、Dell 推奨のデフォルトスケジュールの値と等しいかこれより大きくするようにします。

4. **保存して閉じる** をクリックします。

5. スケジュールを設定した後で、管理サーバー上に **Dell ハードウェアの自動グループ化ポリシー** を導入します。

Dell ハードウェア自動グループ化ポリシー の導入についての詳細は、『*Dell Smart Plug-in For HP Operations Manager 9.0 For Microsoft Windows バージョン 4.1 ユーザーズガイド*』を参照してください。

次の図に、自動グループ化後の Dell ハードウェアサービスの階層を示します。

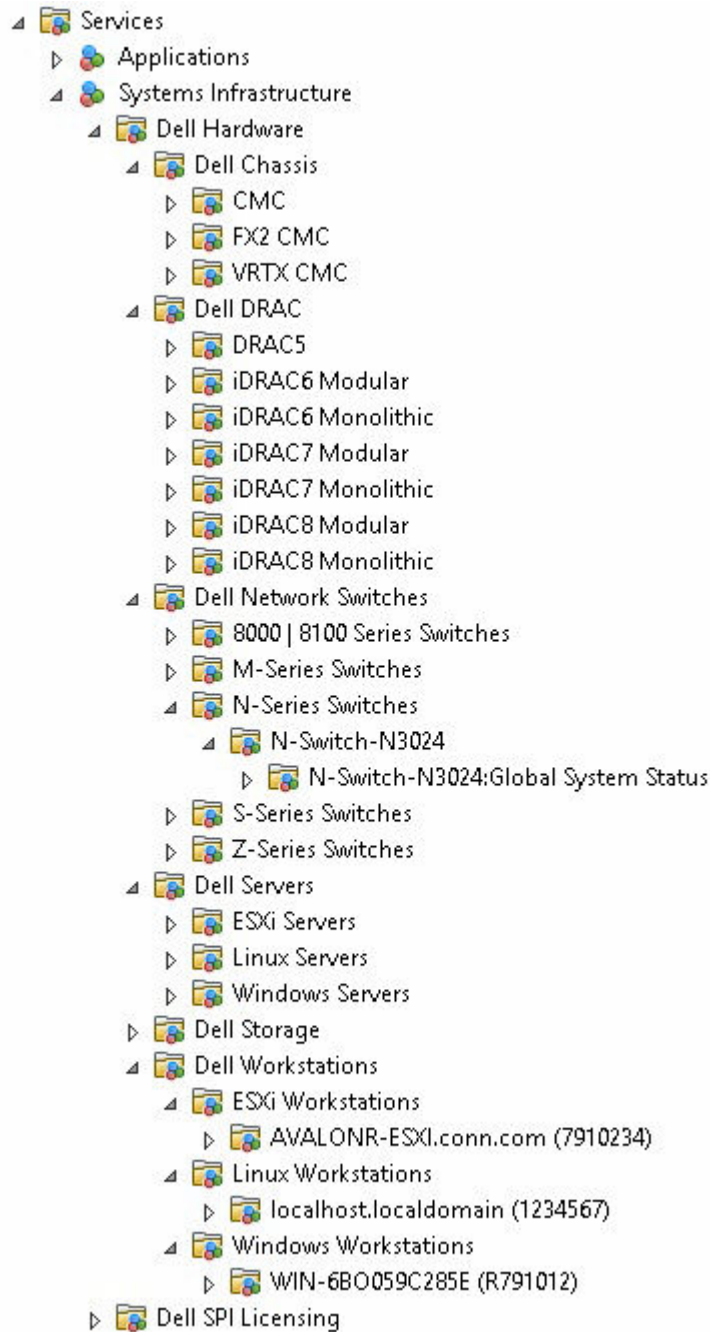


図 3. 自動グループ化後の Dell サービスの階層


次の図に、自動グループ化後の Dell ハードウェアノードの階層を示します。

Connections License Manager ドメイングループの作成

Dell Connections License Manager のインストール中、Windows Server Active Directory 内に次のグループが作成されます。

- Dell Connections License 管理者
- Dell Connections License オペレータ
- Dell Connections License ユーザー

上記のドメイングループがインストール中に自動的に作成されない場合は、グループを手動で作成します。ドメインを作成してドメインにユーザーを追加するには、Microsoft (technet.microsoft.com) で Windows のマニュアルを参照してください。

 **メモ:** 必要なドメイングループを作成した後、管理サーバーマシンアカウントを **Dell Connections License ユーザー** グループの一部として追加し、現在のユーザーアカウントを **Dell Connections License 管理者** グループに追加してください。

Dell デバイスの削除

Dell デバイスを HPOM コンソールから取り外すには、次の手順を実行します。

1. HPOM コンソールから Dell デバイスを取り外すには、「HP Operations Manager オンラインヘルプ」の「ノードの管理」にある、「管理対象ノードの削除、コピー、移動」の項を参照してください。
2. デルの第 12 世代以降の PowerEdge サーバー、Dell PowerVault ストレージサーバー、または Dell ワークステーションを HPOM コンソールから削除する前に、次の手順を実行して、取得した Dell Connections License を放棄します。
 - a. 管理サーバーでコマンドプロンプトを起動します。
 - b. **DellSPIConfigUtility.exe** に移動します。
デフォルトの場所は、**C:\Program Files\Dell\OpenManage Connection for HP** です。
 - c. 次のコマンドを入力します。
`DellSPIConfigUtility.exe -relinquish=<iDRAC7/iDRAC8 device servicetag/ServerNodeID>`




メモ:

ServerNodeID は、Dell PowerEdge FM120 デバイスを削除したい場合にのみ使用します。

インストーラの修復オプションの使用

Dell デバイス用 SPI ポリシーグループ、または管理サーバーのポリシーインベントリからポリシーを誤って削除した場合、Dell SPI インストーラの **修復** オプションを使用してポリシーを再インストールします。

自動導入 オプションが選択されていると、この **修復** オプションは管理サーバーに欠落している Dell SPI ポリシーをインストールし、自動的にポリシーを導入します。**修復** オプションを使用する前に、HPOM コンソールで HPOM 管理サーバーノードからすべての Dell SPI ポリシーを削除するか、または導入解除するようにしてください。

 **メモ:** ポリシーの変更を行った後に削除した場合、**修復** オプションではポリシーのオリジナルバージョンのみをインストールします。必要に応じて、ポリシーを再度変更してください。修復オプションは、インストール手順中に **Dell SPI の設定を維持** にチェックを入れていない場合に限り、SNMP、WSMAN、DWSURL、DCLM Webservice URL、および保証レポートの URL パラメータの値をすべてデフォルト値にリセットします。パラメータの値を再度設定する必要があります。

さらに、いずれかのファイルが失われた、または破損している場合、**修復** オプションはこれらのファイルを置き換えます。

Windows の **コントロールパネル** を使用した Dell SPI プログラムの修復機能により、既存の Dell SPI の設定が、HP 管理システム上に保持されます。

 **メモ:** 修復プロセスを開始する前に、HPOM コンソールを閉じることをお勧めします。

プログラム機能の修復

プログラム機能を修復するには、次の手順を行います。

1. 解凍先のフォルダから **Dell Smart Plug-In v4.1_x64.msi** を実行します。
ようこそ 画面が表示されます。
2. **次へ** をクリックします。
インストーラに 2 つのオプション、**修理** と **削除** が表示されます。
3. **修復** オプションを選択し、**次へ** をクリックします。
ユーザー設定の保持 画面が表示されます。
4. **ユーザー設定の保持** 画面で、**はい** を選択して現在の Dell SPI 設定を **修復** 動作中に保持するか、**いいえ** を選択してデフォルト設定にリセットします。**次へ** をクリックします。

 **メモ:** **はい** を選択した場合、**DellSPIConfigUtility.exe** を使用して設定されたパラメータが保持されます。

5. インストール中にポリシーファイルを自動導入する場合は、**自動導入** 画面で **はい** を選択してから **次へ** をクリックします。それらを管理サーバーに手動で導入する場合は、**いいえ** を選択してから **次へ** をクリックします。
6. **修復の準備完了** 画面で、**インストール** をクリックします。

7. 修復プロセスが完了したら、**終了**をクリックします。

Windows コントロールパネルを使用した Dell SPI プログラム機能の修復

Windows コントロールパネルを使用して Dell SPI プログラム機能を修復するには、次の手順を行います。

1. スタートメニューから、**コントロールパネル** → **プログラム** → **プログラムのアンインストール**をクリックします。
2. **プログラムのアンインストールまたは変更** ウィンドウで、**Dell Smart Plug-in for HP Operations Manager for Windows** バージョン **4.1** を選択し、**修復** をクリックして、修復プロセスを開始します。**DellSPIConfigUtility.exe** を使用して設定されたパラメータはデフォルトで保持されます。

Dell SPI が修復されます。




メモ: Windows のコントロールパネルにある **変更** オプションを使用して、Dell SPI のプログラム機能も修復できます。

Dell SPI バージョン 4.1 へのアップグレード


管理サーバーに Dell SPI バージョン 3.0 以降をインストールした場合、それをバージョン 4.1 にアップグレードすることができます。

バージョン 3.0 以降からアップグレードすると、既存のポリシーがバージョン 4.0 にアップグレードされ、既存の Dell グループは自動的に **ノード** および **サービス** から削除されて、再度作成されます。

 **メモ:** アップグレードプロセスでは、ポリシーファイルのスケジュール設定は維持されません。ただし、**DellSPConfigUtility.exe** 使用して設定されたパラメータは保持されます。

Dell SPI のアップグレード

1. 解凍先のフォルダから **Dell Smart Plug-In v4.1.msi** を実行します。
よろこそ スクリーンが表示されます。Dell SPI の別バージョンがインストールされており、新しいバージョンにアップグレードしたいかどうかをたずねるメッセージも表示されます。
2. **はい** をクリックしてインストールを続行します。
3. 「[Dell SPI for HPOM for Microsoft Windows のインストール](#)」に記載されている手順 5~11 を実行します。


 **メモ:** アップグレード処理が完了した後、**Dell ハードウェア自動グループ化ポリシー** が自動的に実行され、Dell デバイスをグループ化します。


Dell SPI for HPOM for Microsoft Windows のアンインストール

Dell SPI のアンインストールは、Windows のコントロールパネル、または Dell SPI インストーラの **削除** オプションから行うことができます。Dell SPI をアンインストールする際、ファイルやスクリプトといった Dell SPI コンポーネントは、インストールされているシステムから削除されます。

Dell SPI をアンインストールする前に、次の要件が満たされていることを確認します。

- 管理サーバー上で Dell ポリシーが実行されていないこと。
- HPOM コンソール上の HPOM 管理サーバーから、すべての Dell SPI ポリシーが削除または展開解除されていること。
- Dell SPI ディレクトリが閉じていること。

 **注意:** HPOM をアンインストールする前に、Dell SPI をアンインストールしてください。HPOM を先にアンインストールしてから Dell SPI をアンインストールしようとすると、アンインストールプロセスがエラーを伴って失敗する場合があります。

 **メモ:** Dell SPI をアンインストールするときは、次のエラーが表示される場合があります。

- 「1 つ、または複数の Dell SPI プロセスが実行中です。」
- 「すべての Dell SPI プロセスを中止して、再試行してください。」

この問題を解決するには、ポリシーを無効にするか、ポリシーの実行が完了するまで待ってから、アンインストールを再試行します。

- 「MMC がスナップインでエラーを検知しました。MMC をシャットダウンして再起動することをお勧めします。」
- 「セットアップは、システムの動作中にはアップデートできないファイルまたはサービスをアップデートする必要があります。続行する場合、セットアップを完了するために再起動が必要となります。」

Dell SPI のアンインストールは正常に行われているため、このエラーは無視して構いません。

Windows コントロールパネルを使用した Dell SPI の削除

Windows コントロールパネルを使用して Dell SPI を削除するには、次の手順を実行します。

1. スタートメニューから、**コントロールパネル** → **プログラム** → **プログラムのアンインストール** を選択します。
2. **プログラムのアンインストールまたは変更** で **Dell Smart Plug-in for HP Operations Manager for Windows バージョン 4.1** をクリックし、**アンインストール** をクリックします。
3. **プログラムと機能** ウィンドウで、**はい** をクリックします。
Dell SPI v4.1 が HPOM 管理サーバーから削除されます。



メモ: Windows のコントロールパネルにある **変更** オプションを使用して、Dell SPI のプログラム機能も削除できます。

インストーラを使用した Dell SPI の削除

インストーラを使用して Dell SPI を削除するには、次の手順を実行します。

1. 自己解凍パッケージ **Dell Smart Plug-in v4.1_Axx.exe** の内容を解凍したフォルダから、**Dell Smart Plug-In v4.1_x64.msi** を実行します。
ようこそ画面が表示されます。
2. **次へ** をクリックします。
インストーラに 2 つのオプション、**修理** と **削除** が表示されます。
3. **削除** を選択し、**次へ** をクリックします。
プログラムの削除 画面が表示されます。
4. **プログラムの削除** 画面で、**削除** をクリックし、プロセスが完了するのを待ちます。
Dell SPI for HP Operations Manager が管理サーバーから削除されます。

Dell SPI のアンインストールの確認

Dell SPI が管理サーバーから完全にアンインストールされたことを確認するには、次の手順を実行します。

1. HPOM コンソールから **ポリシー管理** → **ポリシーグループ** をクリックし、**Dell デバイス用 SPI** が削除されていることを確認します。
2. **ノード** をクリックし、**Dell 管理下システムグループ** が削除されたことを確認します。
3. **サービス** → **システムインフラストラクチャ** とクリックし、すべての Dell デバイスの **Dell ハードウェアサービス**、**Dell SPI ライセンス サービス**、および **サービスツリー** が削除されたことを確認します。
4. **ツール** をクリックし、**Dell ツール フォルダ** が削除されたことを確認します。
5. Dell SPI インストールディレクトリが、デフォルトまたはカスタムパスから削除されたことを確認します。
デフォルトのパスは、**C:\Program Files\Dell\OpenManage Connection For HP** です。
6. ポリシーディレクトリが削除されたことを確認します。
デフォルトのパスは **C:\Program Files\HP\HP BTO Software\install\DellSPIPolicy** です。

関連文書

本ガイドに加え、デルサポートサイト dell.com/support/manuals で利用できる次のガイドにアクセスすることができます。マニュアルページで、**ソフトウェアとセキュリティ → エンタープライズシステム管理** をクリックします。右側の該当する製品リンクをクリックして、マニュアルにアクセスします。

たとえば、Dell SPI マニュアルを表示するには、**ソフトウェアとセキュリティ → エンタープライズシステム管理 → Dell Smart Plug-in for HP Operations Manager Version 9.0 for Microsoft Windows** をクリックします。

- *Dell Smart Plug-in for HP Operations Manager Version 9.0 for Microsoft Windows バージョン 4.1 ユーザーズガイド*
- *Dell Connections License Manager ユーザーズガイド*
- *Dell Integrated Remote Access Controller ユーザーズガイド*
- *Dell OpenManage Essentials ユーザーズガイド*
- *Dell OpenManage Power Center ユーザーズガイド*
- *Dell OpenManage Server Administrator ユーザーズガイド*
- *Dell OpenManage With VMware ESX/ESXi Systems Management ガイド*
- *Dell Remote Access Controller 5 ユーザーズガイド*
- *Dell Remote Access Controller/Modular Chassis ユーザーズガイド*
- *Dell Chassis Management Controller ユーザーズガイド*
- *Dell PowerEdge VRTX 用 Dell Chassis Management Controller ユーザーズガイド*
- *Dell PowerEdge FX2/FX2s 用 Dell Chassis Management Controller ユーザーズガイド*
- *IBM Tivoli Network Manager ユーザーズガイド*